

# 防災気象

豆知識 (8)

## 竜巻から身を守る

徳島地方気象台防災気象官の沖村英幸さんにご寄稿いただきました。

問い合わせは 防災対策課 (☎22-9191)へ

気象情報等の段階的な発表について

気象現象において大きな被害をもたらすものとして竜巻があります。竜巻は発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻で、短時間で帯状の狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらすことがあります。例えば、樹木が倒れたり、建物が倒壊したり、車が飛ばされたり、ひっくり返ったりすることがあります。また、さまざまな物が勢いよく飛ばされて非常に危険です。では、私たちは、どのようにして竜巻に注意すればよいのでしょうか。

今まさに竜巻の発生が予想されている、あるいは、既に発生している場合には「竜巻注意情報」を発表します。また、気象庁ホームページでは「竜巻発生確度ナウキャスト」で刻々と変化する状況を詳細に知ることができます。

日本は豊かな自然を有する半面、自然災害の多い国でもあります。自然とは、恩恵と危険、両方の顔を持ち合わせています。「自分は災害に遭うはずがない」などと思いません、「いつかは災害に遭うかもしれない」と考えて、身の安全を守る行動を早め早めにとることが大切です。そのことが、自分だけでなく、ご家族や周りの人たちの命を守ることに繋がります。

気象台では、竜巻などの突風の発生が予想された場合には、半日から1日前に「気象情報」を発表し、竜巻などの激しい突風のおそれ」を明記し、注意を呼びかけます。さらに数時間前には「竜巻」と明記した「雷注意情報」を発表します。そして、

もし、竜巻が間近に迫ってきた場合は、直ちに身を守る行動を取りましょう。屋外では、丈夫な構造物の物陰に入って身を小さくします。建物の中では窓やカーテンを閉め、窓からできるだけ離れ



竜巻の被害例（平成19年8月29日に発生した突風について徳島県（徳島市）現地調査報告書より）

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>  
参考資料  
ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守るう！」  
リーフレット「竜巻から身を守る～竜巻注意情報～」

